

㊦ (小計 60点)

問一 (10点) 壮太は優しいとほめたが、入院したてのころからぼくはわがままで、今も早く退院するためにみんなに優しくして
いるだけだから。

問二 (14点) 壮太とお別れをするのが悲しく、一言でも発すると涙が出てしまうのを我慢しながら、母親の前では「まあね」と
言うことで強がっているという心情。

問三 (18点) ぼくが入院生活による不安定な気持ちから毎夜おもちゃ箱をひっくり返していたことを知った壮太が、自分の退院
後にぼくが発見することを予測して、おもちゃ箱の中に紙飛行機を仕込んでいたことに気付き驚くとともに、壮太
の思いやりに対して感謝を感じている。

問四 (18点) ぼくも二日間、超楽しかった。壮太がいなくなっても、紙飛行機のお陰でなんとかやれてるよ。バッタ、びつ
くりしたけど外の暑さがよくわかったよ。こんなアイデアが浮かぶなんて、壮太はやっぱり天才だよ。壮太が壮
太なら、小さくたって全然気にすることないんだからな。退院したら絶対遊ぼうな。

㊧ (小計 30点)

問一 (12点) 日本の住宅では、テレワークの場合、生活音や家庭の様子映像が入り、子どもの存在が仕事への集中をさまたげ、
同居する家族も不自由を感じるという問題が生じるから。

問二 (18点) コロナ禍によるテレワークの導入で、仕事場によらず選んだ本当に生活したい地域が、寝に帰るのではなく仕事や
遊び場などの役割を持ち、地域中心の暮らしで人間関係のつながりもでき、住まい手と来訪者が支え合い、感謝し
あえるコミュニティが増加すること。

㊨ (小計 10点)

- (2点×5) (1) 歌劇 (2) 熟練
(3) 脳裏 (4) 唱
(5) 事実無根

【出典】

- ㊦ 瀬尾まいこ『夏の体温』
㊧ 藤本英子『公共空間の景観力』